

世界の観光行政官らが 群馬で観光振興を学ぶ

JICA東京では、日本で観光マーケティングや観光客誘致の手法を学ぶことを目的とした研修を実施しており、開発途上国から観光開発に携わっている行政官を受け入れています。

今回は下記日程で群馬県みなかみ町を訪問しますので、是非取材をご検討ください。

開発途上国では、外貨獲得や雇用創出、地域開発の観点から観光客の誘致に取り組む国が多くあります。日本では、観光庁が主導して、観光地域づくりの舵取り役を担う法人が各地に設立されており、観光振興の重要な役割を担っています。

本研修では、地域開発や観光資源開発の事例を見るために、みなかみ町を訪問します。



前回の研修風景【丸の内観光案内所視察】

<取材可能日時・場所>

6月25日（月）

14：00-16：30／群馬県みなかみ町の観光マーケティングについての講義：（一社）みなかみ町観光協会

6月26日（火）

10：15-11：15／日本文化「古布人形制作」体験：人形の家

12：30-13：30／道の駅「たくみの里」の経営についての講義：（一財）みなかみ農村公園公社道の駅「たくみの里」

※取材をご検討いただける場合、事前に下記連絡先までご一報いただければ幸いです。

<研修概要>

研修コース名：観光振興とマーケティング

研修期間：2018年6月4日～2018年6月29日

<参加者>

ボツワナ、カンボジア、ジャマイカ、ヨルダン、レソト、スリランカ、マケドニア、ベトナムの観光開発に携わる行政官8名

※当日は、研修監理員が同行し、通訳（英語-日本語）を行います。

【本件に関する問い合わせ・連絡先】

◆当日の取材について

JICA 東京 産業開発・公共政策課(担当:森田) TEL03-3485-7635 Email: tictip@jica.go.jp